

●とびくす●

2025年 新年のご挨拶

徳島県建築士会 会長 岸田 徳明



新年明けましておめでとうございます。

新春を迎えるにあたり、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

日頃より、徳島県建築士会の活動に対し、温かいご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年6月に会長に就任して以来、約半年が経過しました、当初は右も左も分からない状態で手探りのスタートとなり、会員の皆様にはご迷惑をおかけすることもあったかと思えます。

この半年間を通じて、会長としての役割の重さ、そして士会全体に及ぼす責任の大きさを日々痛感しております。

昨今の建設業界は徳島県のみならず全国的に大きな転換期を迎えています、人口減少や少子高齢化、気候変動への対応、さらには建設資材の価格高騰や人手不足など、業界全体が数多くの課題と向き合う中で、私たち建築士会にも新たな役割と責任が求められています。

昨年度の決算においては約500万円の赤字が報告され、財政体質の健全化が重要な課題となりましたが、今年度は建築学会への事務委託や委託事業の増加などの成果もあり、赤字解消の目途が立ちつつあります、これを一つの転機とし、引き続き健全な運営を目指してまいります。

本年度は、無駄の削減に加え、収益を生む新たな事業

モデルの検討や、会員サービスの向上、さらには当会の魅力を広く発信する取り組みを積極的に進めていきます。

また、建設業界全体の高齢化が進む中ですが、ベテラン会員への事業協力の依頼、若手建築士の育成を最重要課題の一つとして位置づけています。

ベテラン会員の経験は、建築士会の財産です。いままでのキャリアを活用しつつ、さらに意欲を持って活動できる環境を整えることで、士会全体の活性化を図ることが可能と考えます。

それと共に次世代を担う若い人材を確保し、育成するためには、研修や教育の機会を充実させるとともに、建築士を目指す学生達への支援をさらに強化していく必要があります。

士会会員の皆様が「建築士」という仕事に誇りを持ち、自己研鑽に努められる環境づくりを進めてまいります。

さらに、会員同士の交流や連携を深めることにも力を注いでいきます、セミナーや研修、情報交換の場を設け、技術や知識を共有することで、地域の建築文化の発展に寄与してまいります。

また、他団体や行政との連携を強化し、地域社会における建築士会としての存在感を高め、地域の課題解決に貢献していきたいと考えています。

最後に徳島県建築士会は、建築に関わる全ての人々を支えるプラットフォームであり続けることを目指しています。

そのためには、会員の皆様お一人お一人のご協力とご意見が欠かせません、皆様の声を大切にしながら、さらなる発展を目指して邁進してまいります。

令和7年が会員の皆様にとって実り多い一年となるよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

●地域会だより●

小松島市総合防災訓練に参加しました！

小松島・勝浦地域会 庄野 章夫

10月27日（日）の午前9:00の開始時間の30分前に、会場の坂野小学校に同じ地域会の大木さんと時本さんの3名が集結しました。

中山市長（地域会会員）の肝入りで開催される、小松島市総合防災訓練に建築士会としてブース出展するためです。

出展内容は、

① 避難場所と指定されている公共建築物が、果たして現状で耐震基準を満たしているのか、の問題提起。

② 平時に耐震診断と耐震補強工事を済ませといて、自宅で災害避難が出来るようにしませんか、の提案。

③ 応急危険度判定の識別（赤紙・黄紙・緑紙）の根拠となる傾斜度の見える化。

が主だった概要です。

地域や役所内の担当者の一団が、最初にごるっと一回りしてきて、熱心に時本さんの話に耳を傾けて聞いています。

構造研からお借りしたピノキオ・ブルルも参加者の興味関心を引き、来場者との話題作りに一役買ってくれました。

やはり、自分たちと違って一般の方はそういった視点からの意見に触れることなく日々暮らしているので、新鮮な眼差しでこちらにも質問を投げかけてきます。

逆に、普段から一般の方達との意見交換の場ってあまりないので、こういった設定での交流はありがたいと思います。

特に今年は、元日の能登半島地震から3日後の1月4日に、支援物資を2tトラックに積んで第一弾で届けてきたので、何としても徳島県の方達があのような悲惨な状況に陥らないようにしたいという気持ちでいっぱいです。

今回の総合防災訓練では、建築士会の出展場所は体育館内で、自分達以外には災害時用テントしか並んでなかったんですが、運動場の方では子供たちによる消火器放射練習や、事故車両からの救出実演などが行われていて、参加した方達が少しでも楽しめる演出がなされていました。

やはり防災訓練に人を集め、継続させるにはエンタメの要素が欠かせないと実感しています。杓子定規な真面目な内容では、どうしても限界に当たってしまうのです。一度被災してしまうと明るい雰囲気にはなれないのですが、そうなる前の防災対策は、いくらでも陽気にやれると思います。特に子供たちが喜んで参加するような催しなら、親も自然と付いてきます。

今回少し気になったのは、地域の祭り重なったとかで、来場者がやや少なかったことです。

気候と天気は抜群だったんですが、やはり地元の方達が来てナンボなので、そこは改善してもらいたいです。

こういった場に顔を出していたおかげで地域と繋がって、イザという場面で助け合えたという話も耳にします。

被災時に、近所の方ほど頼りになる存在はいません。

普段は道ですれ違うだけの関係でも、こんな場で一緒にいたら一気に距離が縮まること間違いなし、そこに子供連れ同士だと秒でコミュニティが出来てしまいます。

そんな楽しめる場に、今後もっとしてってもらいたし、続けていくことで南海トラフ最前線の海岸に面して暮らしている市民の防災リテラシーが向上することを願っています。

今回メーカーさんも数社出展されていて、ドローンによる状況確認や、簡易なビニールバッグで大量の水が運べる提案などを拝見して、そんな革新されていく技術をキャッチアップしていただだけでも開催し続ける意味があると実感した次第でした。



▶時本レクチャー



▶聴講者の様子

●とびくす●

第66回建築士会全国大会「鹿児島大会」

三好地域会 中尾山秀政

2024年10月25日に第66回建築士会全国大会「鹿児島大会」が開催されました。毎年全国大会に合わせて2泊3日で研修ツアーが企画されています。今年は県内で21名と少し寂しかったのですが、三好地域会からは今回も6名参加させて頂き、しっかりと研修を行ってまいりました。私も全国大会は平成25年第56回島根大会から毎年参加させて頂いておりますが、この度連合会長表彰を頂くことになり、記念すべき大会となりました。

10月24日、とにかく朝が早い、県西部は4時半出発、松茂とくとくターミナル6時前に集合しバスで伊丹空港へ、着くなり喉を湿しモーニング、シルバー缶を仕入れ9:30発、鹿児島空港10:45着に乗り込みます。いよいよ南国鹿児島へ、桜島が待ってるぜ(〇^)/雨の中、木造の小浜ビレッジを見学その後、黒酢壺畑を見学した後の昼食、黒酢の酢豚が美味しかったです。それから黒川紀章設計のホテル京セラを見学、次に霧島アートの森・野外美術館を傘さしての見学、このころ私の腰も悲鳴を上げておりました(-_-;)が頑張っって次の霧島国際音楽ホールを見学し、一日目の宿霧島温泉郷に到着です。めちゃ広い温泉につかり腰痛を癒し宴会に望みました。温泉郷

での宴会は秋田大会で伝説を残している三好地域会、今回は部屋での二次会で盛り上がりました。二日目、朝一国宝霧島神宮をお参りし、日本初の洋式紡績工場世界文化遺産の旧鹿児島紡績所・技師館見学、次に大河ドラマせごどんのロケ地にもなった島津家別邸・仙巖園・御殿・集成館を見学しました。雄大な桜島を望む庭園が素晴らしかったです。昼からは宝山ホールでの全国大会に参加し表彰式に参加させて頂きました。

三日目も島津斉彬を祀る照国神社参拝→重伝建保存地区の入来麓武家屋敷群・出水麓武家屋敷群と見学、古民家で美味しい昼食をいただき、曾木の滝・発電所遺構→嘉例川駅舎見学と凄いい数の研修を行い何とか足を引きずりながら帰って来ました。来年の全国大会は大阪万博楽しみです。腰痛直し参加したいと思います。



●士会だよりー徳島県●

浄化槽維持管理標準契約締結時における
浄化槽管理者に対する確認について

徳島県では、平成24年4月1日から、浄化槽法で定める浄化槽管理者の維持管理上の3つの義務である保守点検、清掃及び法定検査を、浄化槽管理者、保守点検業者、清掃業者、指定検査機関が「浄化槽維持管理標準契約書」により一括して契約を締結するよう定めています。

この手続きを定めた「浄化槽標準契約マニュアル」では、工業者又は保守点検業者（清掃業者）が契約代行者となり契約を行うこととなっておりますが、浄化槽管理者に対して契約条件の提示や契約意思の確認を行わないまま、一方的に契約を締結し、トラブルとなっているケースが散見されます。

つきましては、契約締結前に浄化槽管理者に対する契約内容の説明を必ず行うよう留意するとともに、関係者に対する周知をお願いいたします。

県土整備部水環境整備浄化槽担当 谷
電話 088-621-2279

■各種塗料・用品販売 □建築塗料[屋根用一般・遮熱・外壁、床及び防水]
鉄構造物重防食、木部用塗料 □自動車補修用塗料 □工業用 □船舶用
■その他 □設備工具・メンテナンス□OA機器□Dサイネージ・デザイン など

NANKAI PLANNER

株式会社 南海プランナー

■本社	〒770-0051 徳島市北島田町2丁目27-4	Tel:088-632-4191
■香川支店	〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶3199-1	Tel:087-813-7350
■徳島営業所	〒770-0064 徳島市不動西町4丁目2004-1	Tel:088-678-8263
■阿南営業所	〒774-0017 阿南市見能林町志んじゃく1-8	Tel:0884-22-0179
■テクノカルセンター	〒770-0064 徳島市不動西町1丁目296	Tel:088-632-5579

店舗／工場・倉庫内の昇降をサポート

製造から販売・メンテナンスまで
自社一貫で行う
総合エレベーターメーカーです。

・荷物用エレベーター
・小荷物専用昇降機 など

荷物用エレベーター マルチベアー

クマリフト 本社：大阪市西区京町堀1-12-20
TEL：0120-07-0570
HP：www.kumalift.co.jp

●令和6年度徳島支部+男女参画委員会共同企画●

太陽の塔のおなかと魅力ある和の空間
をめぐるバスツアー 参加者募集

毎年恒例となりました建築見学バスツアー。今年度は近畿方面へ。太陽の塔のおなかの中見学や谷崎潤一郎旧邸／倚松庵、神戸酒心館（酒蔵見学・試飲）など、昼食はホテルでランチバイキングを計画しております。

日程：令和7年3月8日（土曜日）

参加費：会員3,000円 会員外5,000円

子供（12歳以下） 2,000円

※参加人数により参加費が変わる場合があります。

定員：25名（先着順）

詳細・申込み方法等は、来月号のまちかど折込チラシにてお知らせいたします。

編集後記

- ・オペラでヘトヘト・・・
ゆっくり休ませていただきます（ノーマツ号）
- ・お疲れ様でした。今年も宜しくお願いします。
（ひとはたうさぎ）
- ・お疲れ様でした。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。
（ぺべい）
- ・ごちそうさまでした。本年もよろしく願いいたします。
（源子&桃太郎）

建築士会本部行事

令和7年1月	令和7年2月
18日(水) 建築相談 (士会会議室)	12日(水) 建築相談 (士会会議室)
22日(水) 建築相談 (士会会議室)	15日(土)～16日(日) 中四国スキーツアー (兵庫県)
耐震技術者養成講習会（新規） (建設センター)	21日(金) 全国職員会議 (東京都)
23日(木) 既存住宅状況調査技術者更新講習 (士会会議室)	26日(木) 建築相談 (士会会議室)
31日(金)～2月1日(土) 中国四国ブロックまちづくり委員長会議 (鳥根県)	27日(木) 中国四国ブロック会長会議 (岡山県)

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 建築相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時（相談時間は1時間以内）に実施しています（要予約）。

発行所

公益社団法人 徳島県建築士会
〒770-0931 徳島市富田浜2丁目10番地
建設センター 5F
[TEL] 088-653-7570 [FAX] 088-624-1710
[MAIL] tokuarc-honb@diary.ocn.ne.jp